

鉄道車両、バス、船舶などの内外装を 幅広く、設計から製作、施工、 メンテナンスまでワンストップで 対応できるオンリーワン企業

話題となる乗り物の華麗でユニークな 内外装を手掛ける

九州機装は、箱根名物の海賊船「クイーン芦ノ湖」や東京池袋の赤い電気バス「イケバス」、平成筑豊鉄道の「ことこと列車」など、話題となっている乗り物の華麗でユニークな内外装を手がける企業である。

船体に装備品を取り付ける工事「機装」を社名にした同社は、高い技能、品質などが評価され、九州内外から仕事が舞い込む。

社長の磯邊謙一氏は、20年余り車両の仕事に携わり、2017年に創業、2018年1月に株式会社九州機装を立ち上げている。

現在、社員7名の職人集団ではあるが、緻密な内外装の製作や施工品質、小回りを利かせた対応力など、発注先から高い評価を得ている。

例えば、東急電鉄の観光列車「ザ・ロイヤルエクスプレス」では、内装パネルやビュッフェなどの製作、取付工事を行い、品質や納期面などが評価され感謝状を授与されている。また平成筑豊鉄道の「ことこと列車」では、外装から内装まで一括で設計、製作、施工を担当、平成筑豊鉄道の河合賢一社長からは「メンテナンスも任せられる信頼感がある」と高い評価を受けている。

JR西日本が2020年9月に運行を開始した列車「ウエストエクスプレス銀河」の施工を受注した時は、1か月半で1車両を仕上げるという異例の速さを求められたが、無事にやりあげ「いい仕事を見せてもらった」と評価をいただいたという。

設計から製作、施工、メンテナンスまで ワンストップで手掛ける

特殊車両などの内装工事には、寄木細工などの木工製品、織物などの伝統工芸品、特殊加工の金属などが使われることが多く、一方で公共交通機関としての快適な乗り心地や難燃性、耐久性などが厳しく問われる難しさがある。鉄道車両やバス、船などの乗り物には、車両には車両のルール、船には船のルールがあり、工事を受注

するためにはこれらに精通していることも条件になる。

また、部品面を見ても、板金には鉄、ステンレスやアルミ、など様々な材料が使われていて、窓ガラス一つとっても強化ガラス、UVガラス、合わせガラスなど多くの種類がある。木工製品や織物、またゴムやシール材など材料、部品のすべてを知らなければ満足な乗り物はできない。

鉄道会社などでは、こうした一発ものと呼ばれる特殊列車の製作発注は、企画、デザイン、管理を鉄道会社自身が行い、その他の部品製作、組立、取付工事などは、それぞれ専門の業者に発注することが一般的である。

九州機装は、各乗り物に要求される法令や材料・部品などの知識に精通しており、これら多種多様な内外装の工事を、設計から製作、施工、メンテナンスまで対応でき、総合的に管理できる国内でも稀有な会社である。

様々な工事にワンストップで対応でき、しかも小回りを利かせて対応する九州機装は、品質、納期などの面で高い顧客満足を獲得、多くの客先から表彰状が届いている。



様々な部材に精通（ことこと列車）

複合パネル工法や部品のユニット化で 短納期、省力化を実現

従来の内装工事の施工、例えばトイレ工事をみると、まずは骨組み部品を製作し車体に溶接で取り付け、さらには化粧板を張り付けるなど、それぞれの専門業者が入れ替わり立ち代わり作業をしていた。

九州機装はあらかじめ複合パネル方式でトイレを製作し、天井と床に取付金具を設置、その取付金具にパネルをねじで取り付けだけの簡単施工で省力化を図っている。また、部品のユニット化に注力し、便所ユニット、天井ユニット、窓ユニット、引き戸ユニット、ビュッフェユニットなどの部品ユニットを品揃えし省力化、短納期化を実現し



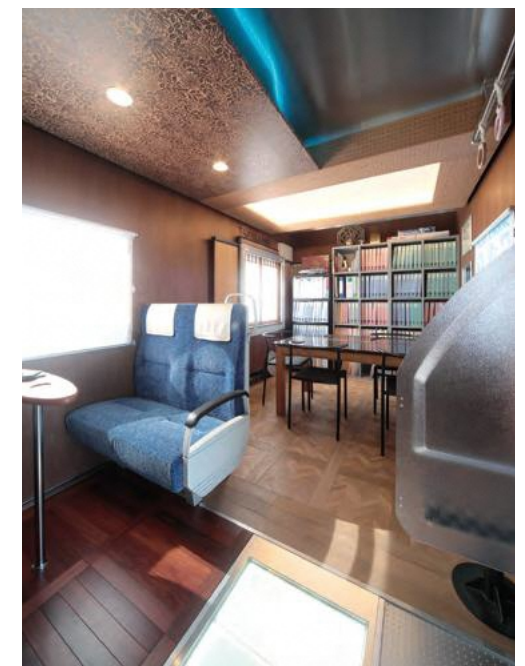
代表取締役
磯邊 謙一 氏

1966年11月18日生まれ。山口県下関市出身。1985年3月、山口県立下関工業高等学校卒業、生徒会長としてリーダーシップを学ぶ。
1985年4月、NEC山口日本電気（株）入社、半導体製造ラインのリーダーとして生産管理を学ぶ。1990年2月、中央出版（株）入社、飛び込み営業を経て、折れない心を学ぶ。
1993年6月、北九州の鉄道車両の改造などを行う会社に入社、JR九州・西日本・四国などの観光列車を担当し機装を学ぶ。2018年1月、株式会社九州機装を設立、数々の車両・船舶・バスの機装作業に携わり「ただ、移動するだけではなく、お客様に感動を」の気持ちで、「乗り物づくり」を頑張る。

ている。

本社工場には、社員の休憩室、応接室を兼ねたユニットハウス、というより車輪がついているので建築基準法適用外のユニットボックスが置かれている。ハウス内には列車の座席、カーテンが内装されている窓ユニット、間接照明を取り入れた天井ユニット、床、壁など、同社が手掛ける部品ユニットの展示場ともなっている。

今後は、ユニットハウスの書斎やマイルームとしての提供や、培ってきたユニット技術を生かし、展示車両などを、災害時の避難場所や食料品などの備蓄基地、倉庫などとして有効活用していくことなどの準備を進めている。



応接室は最新部材のショールームとしても機能



株式会社 九州機装

鉄道・船舶・バスの内装部材の設計・製作・施工・管理

企業概要		DATA
企業名	株式会社九州機装	
代表者	磯邊 謙一	
所在地	北九州市小倉南区朽網西一丁目7番1号	
TEL	093-474-2640	
FAX	093-474-2641	
資本金	300万円	
創業	2017年	
従業員数	7人	
事業内容	鉄道車両、バス、船舶の内装部品や 外装部品の設計・製作・取付工事・管理業務	
URL	https://www.k-gisou.com/	



取材を
終えて

九州機装は、鉄道車両やバス、船舶など多種多様な乗り物の内外装工事を設計から製作、施工、メンテナンスまで、一貫して取り扱うことができ、総合的に管理できる稀有な会社である。人員削減、業務の外注化を進める鉄道会社などにとっては、自らの代行にもなりうる、頼りがいのある存在であることは想像に難くない。